DISTRICT 2790 ROTARY INTERNATIONAL

Rotary

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

Vol.2

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)

ROTARY CONNECTS THE WORLD

印旛沼　成田市と印西市・佐倉市などにまたがる広大な沼。朝焼けや夕陽が美しく、野鳥観察や釣りにも人気のスポットです。

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 諸岡　靖彦

地区スローガン「ロータリーから千葉を元気に」

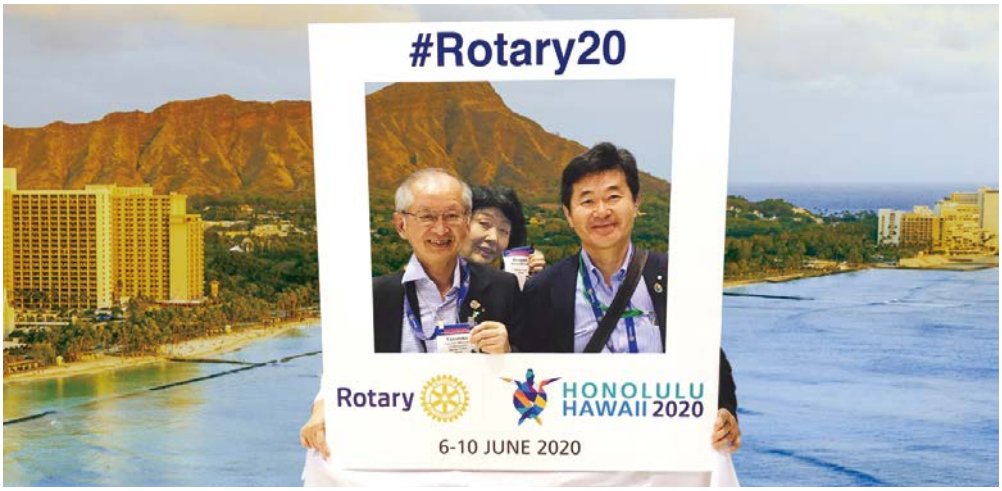
ロータリー特別月間／会員増強・新クラブ結成推進月間

8

2019
August

「心・技・体 ～会員増強・新クラブ結成推進月間によせて～」

国際ロータリー 第2790地区
2019－20年度　ガバナー　**諸岡　靖彦**（成田RC）



親愛なるクラブ会長・幹事各位ならびに会員の皆様、この１年間が充実した時間として共有できますよう、このマンスリーレターをお届け致します。

人物の成長は心･技･体で決まります。心・技・体に余力が生じれば、年齢にかかわらず成長することができます。幼少期には身体が目立って成長し、青年期には技能や精神性が育ってゆき、身体能力はピークに達します。壮年期には技能がほぼ頂点に到り、精神力が充実してゆきます。老年期には、それまでの人生行路のすべての生活態度や行動の結果が、その人物の心・技・体つまり心身の健康度や技の完成度を決定付けます。ロータリークラブの盛衰も、人物の成長と同様ではないでしょうか！

人は自身の成長を自覚できるうちは満足し、自信を持って生きていられます。しかしあなたのクラブ、あなたの事業、地域社会、家庭は順調に成長の途をたどってゆけるものでしょうか？

人は誰しも体力か精神力か経済力の、いずれかの余力を失うと迷い、悩み、もがくことになります。そうでなければ、それはぬるま湯に浸かり切って、「安住」しているのです。体力の衰えは健康診断のデータでつかむことができます。それは医師の指導で生活上の危険因子を減らすよう努め、正常に戻すことができます。クラブ会長はまず、クラブの心・技・体の健康状態をつかむべきです。ロータリークラブは健康で、社会生活上有意義な活動を求められているからです。

健康なクラブであれば、奉仕活動、親睦活動、会員増強活動に成果が現れます。クラブ会長の役割は、自クラブを成り立たせている基盤の健康状態をつかみ、これを改善し、時には改革という新しい方向を目指すよう指導力を発揮しなければなりません。奉仕、親睦、会員増強を担当する委員長に方針を示して意見交換の上、改善に手を付けるべきです。

つまり会長が夢を語り、決意を示して、会員同士が話し合って、自クラブの理想像を共有し、道筋をつけて、クラブ協議会で決議するのです。５年後にどんなクラブになりたいのか！の目標を立て、年次ごとの段階計画を立案します。これがクラブ戦略計画です。

そしてクラブ戦略計画委員会をつくり、継続性を保ちながら年次ごとの改善を進めるのです。戦略計画の中に、親睦、奉仕活動、会員増強、クラブ運営、リーダーシップ養成、ロータリー情報研修などの項目を整えましょう。

そして、いよいよ会員増強（会員の定着を含む）活動に励むことができるのです。親睦活動（会員の交流、仲間とよく知り合って、同志として絆を深める）を盛り上げ、奉仕活動に心を合わせて取り組みましょう！　こうして元気なクラブが生まれます。元気なクラブは元気な会員を育てます。元気な会員がさらに元気な良いクラブを創ります。会員増強は親睦活動、奉仕活動を盛り上げて、クラブをさらに強く元気にします。会員増強はやがて新クラブ（RCでもRACでも衛星クラブでも）を生み出すことにつながります。会員増強は戦略計画という仕掛けによって、クラブの心・技・体を成長させる入り口となり、クラブを成長させる大きな原動力となるのです。

地区幹事長就任にあたって

国際ロータリー 第2790地区
2019－20年度　地区幹事長　**堀口　路加**（成田RC）

諸岡靖彦ガバナー年度の地区幹事長を務めさせていただきます成田RCの堀口路加です。いよいよ諸岡ガバナー年度がスタートしました。時代は平成から令和へと代わり、東京オリンピック・パラリンピックへの期待が膨らむ中、国際情勢は自国第一主義ゆえに国益がぶつかり合い、貿易摩擦を生み、格差を拡大させ、紛争と貧困が大きな課題となっています。国内でもその影響は身近にあることを実感します。

マローニー会長がテーマに掲げた「ROTARY CONNECTS THE WORLD」はこうした時代背景にマッチしたテーマだと考えます。数年来の国際ロータリーのテーマを並べてみると、ロータリーが国際社会や地域において、奉仕を実践しその活動状況を発信し、活動の輪を広げ、世界の平和に向けた大きな影響力を持つ団体であり続けようとしているのだと考えます。

諸岡ガバナーは、ガバナーノミニー・デジグネートからの３年余りの間、地区とロータリーについて深く観察し、熟考し、そしてこれからのロータリーのあり方に新風を吹き込み、行く先を指し示すには何が必要かを探ってこられたように思います。地区スローガンの「ロータリーから千葉を元気に」にも、東西南北に広がる千葉県全体を見渡した諸岡ガバナーの思いが込められています。

地区幹事長として地区の運営に携わるにはいささかロータリー経験、力量ともに足りないことを自覚の上で、多くの人の力や経験に助けていただきながら、この１年間の任を務めたく存じます。

既に地区チーム研修セミナー、１日半の会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会を終えることができました。準備や運営は簡単ではありませんでしたが、ガバナーエレクト事務所や成田ロータリークラブ会員全員の経験と力で乗り越えることができました。

１月の国際協議会でのRI会長の方針を諸岡ガバナーが持ち帰り、熟考を重ねた地区運営方針とすり合わせ、三大セミナーを通して、地区チーム、会長エレクト、各クラブの役員に１年間のテーマと方向性が伝えられていく様子を見ながら、会員一人一人までその思いが届くことは決して簡単ではないことを実感していますが、三大セミナーに参加したロータリアンの思いが、それぞれのクラブでクラブを元気にすることに向き、クラブの現状と課題を把握して戦略計画へとつながっていくことを願います。

７月下旬から11月にかけて全52回にわたってガバナー公式訪問が予定されています。日程調整にあたっては各グループのガバナー補佐の皆様にクラブとの調整をしていただきました。実りのある公式訪問になることを願います。

10月にはゴルフ倶楽部成田ハイツリーを会場に地区大会記念ゴルフ大会が予定されています。国内旅行航空券とホテル宿泊券をはじめとする豪華商品を用意し、成田ロータリークラブを挙げて皆さんの参加をお待ちしています。

そして年が明けると２月にはいよいよ地区大会。まだ先だと思っているうちに、あっという間に来てしまうのかもしれません。

この他にも各委員会の行事やセミナー、情報研修会やIM、そしてガバナー月信の毎月の編集発行、ホノルルでの国際大会など、毎月盛りだくさんの行事が行われていくわけですが、それらが滞りなく進んでいくようにお手伝いすることができればと考えています。１年間どうぞよろしくお願い致します。

ロータリーの持つ可能性

国際ロータリー第2790地区
研修サブリーダー
パストガバナー　**寺嶋　哲生**（柏RC）

諸岡靖彦ガバナー年度が始まりました。諸岡ガバナーの豊富なロータリー経験に基づき周到に準備された2019－20年度は、既に成功が約束された年度と言い得るでありましょう。１つの組織であるRID2790が、過去に運営されてきた実績を単純にトレースするだけでよろしいのであれば、既に諸岡ガバナーはその役目をほぼ成就されたと言って良いでしょう。

諸岡ガバナー年度にさらなる可能性を付加するのであるならば、「ロータリーから千葉を元気に」諸岡ガバナーが掲げる地区スローガンの通り、ロータリーが１つの独立した組織を超えて、地域社会にその影響をどこまで波及することができるのか。これまでの地区運営の範疇を超え、ロータリーがロータリーの持つポテンシャルを遺憾なく発揮し、その存在感を示すさらなる一歩を踏み出すことができたならば、諸岡ガバナーの本意が成就するのでありましょう。

実際、ガバナーの任務の成否は、ガバナーエレクトの１年間によって決定すると言って良いと思います。地区組織をどう構成し、どのロータリアンに対して地区チームを委ねるか。RI会長のテーマを受け自らの目指す方針をどう定め、その実行のためにどのような予算措置を講じるか。三大セミナーを通じて、それらの方針をクラブ会長・クラブ役員・地区チームとどう共有するか。これらのことはガバナーを務める人間のロータリー観と不可分であり、そのロータリー観は個人としてのロータリー経験と知識によって培われるものであります。

その点、諸岡ガバナーは豊富なロータリー経験と知識に基づく確固たるロータリー観を備えられ、加えて誠実なお人柄と相まって周到に準備を重ねられました。2019－20年度が、既に成功が約束されたと確信するゆえんであります。

他方、私がガバナーを経験して改めて感じたことは、ロータリーを構成するロータリアンのポテンシャルの高さであります。どのクラブを訪問しても、常にその地域や職域を代表する方々が数多くいらっしゃる。人口減少社会という厳しい時代の中にあっても、果敢に社会のニーズに対応して、必要とされる企業を経営される方々。一企業の範疇を超え、地域社会や職域団体において指導的役割を担われている方々。時代の変化に対応する嗅覚と行動力を備えるのみならず、多くの人望を得るだけの誠実な人間性を備えられた方々によって構成される、ロータリーとはそんな組織であることを再認識した次第であります。

これらのロータリアンが、いま一度地域社会を元気にするという意識を共有することができたならば、ロータリーは１つの組織という存在を超え、社会に対してさらなる有益な結果をもたらし、さらなる存在感を示すことができるでありましょう。

確かなロータリー観に基づき、周到な準備を重ねられた諸岡ガバナーでございます。しかし諸岡ガバナーの目指すところは、ロータリーがそのポテンシャルを遺憾なく発揮し、地域社会に活力をもたらす、さらなる高みであります。

私たちロータリアンは諸岡ガバナーの志を共有し、「ロータリーから千葉を元気に」するための一歩を踏み出す。2019－20年度がそんな一年となることを期待しつつ、私自身も研修サブリーダーとして微力を尽くします。ただ今は、そんなことを考えているところでございます。

管理運営統括委員長就任にあたって

国際ロータリー第2790地区
管理運営統括委員会
統括委員長　**堀内　正一**（木更津RC）

地区委員会の役割は、クラブがロータリーの目的を推進するために存在し、各クラブへの実践支援をするとの考えを基本に活動させていただきます。

2019－20年度管理運営統括委員会は、諸岡正徳委員長はじめとする４名の委員による「会員増強・維持拡大委員会」、森島弘道委員長はじめ５名の委員によります「フェローシップ・親睦活動委員会」、大塚義仁委員長はじめ３名の委員によります「広報・公共イメージ向上委員会」の３委員会で構成されています。

これら３委員会はいずれも元気なクラブを目指して、会員増強・維持拡大につなげるために、クラブのお役に立つことを目的として連携し活動してまいります。

マローニー会長は会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要と述べています。2016年の規定審議会で、スタンダードからオプショナルへ柔軟性が導入され、「ロータリーの審議会」は会員増強するために効果的な方法を自由に決定できるように承認致しました。

また、かつてRI定款に規定された会員資格の６つの基準が廃止され、簡潔な要件となりました。もちろん誰でも良いということではありませんが、善良さ・高潔さ・リーダーシップを持って示し、事業、専門職務、職業および地域社会で良い評判を受けており、地域社会または世界において奉仕する意欲のある成人であれば、会員になることが可能となりました。

第2790地区諸岡靖彦ガバナーは、地区3,000人、女性会員300人、30会員未満のクラブの基盤強化、ローターアクトクラブを含み３クラブの新設を地区継続目標としました。特に今年度は会員数の純増１名以上、女性会員、若手職業人の増強を求められています。

今日、とりわけ家族との時間を大切にする若い職業人や女性にとって、ロータリーをより身近で手が届くような存在にすることを必要としています。そのために広報・公共イメージ向上委員会では各クラブのWebサイトやSNSの充実を図り、ロータリーのイメージ向上・ブランド化に努めてまいります。

特に2020年開催のオリンピック・パラリンピックでは、ロータリーを広める絶好の機会と捉え活動してまいります。また、ロータリアンの退会防止・維持拡大のために、フェローシップ・親睦活動委員会には会員同士・地域社会の人々と趣味を生かした同好会（野球リーグ、二輪走友会、女性交流会、スリランカクラブなど)があります。今後も各クラブ・グループの枠にとらわれない活動をしてまいります。

さらに、今年度はロータリーの基盤であるクラブを元気にするために、具体的な支援体制の窓口である「クラブ活性化支援チーム」を設置します。日本のロータリーも2020年には100周年を迎えます。第2790地区の各クラブもそれぞれ歴史を積み重ねてきた中で、ここで一度立ち止まって運営方法や組織の在り方などを考えてみることも大切です。

2016年・2019年の規定審議会で、いくつかの制定案が採決・改正されました。例会回数をはじめ多様なクラブができ、今までのような画一的なクラブ運営でなく、特長あるクラブづくりが求められるようになりました。各クラブがどのようなクラブにしていくのかをよく検討し、クラブの奉仕活動に地域の人々が参加したい、クラブに入会したいという魅力的なクラブづくりをすることが、会員増強の基本になるかと思います。

この「クラブ活性化支援チーム」では、ロータリーの目的をより効果的に推進し、元気なクラブづくりを目指すために皆様からご相談を受け付けてまいります。

ロータリアン一人一人がロータリーの魅力の再現に力を注ぎ、その中から会員増強・維持拡大の成果を生み出し、ロータリーから千葉を元気にしてまいりますので、よろしくお願いします。

委員長就任にあたって

ロータリー研修委員会
副委員長
中村　俊人（柏東RC）

今年度のロータリー研修委員会は、諸岡靖彦ガバナーの掲げられたスローガン「ロータリーから千葉を元気に」するために、まず「元気なクラブを創る」。このために関口徳雄研修リーダーの統括の下、寺嶋ロータリー研修委員長はじめ研修委員会一丸となり、理念研修委員会およびRLI推進委員会との連携を図りながら取り組んでまいります。

地区内各グループにおける情報研修会に対しましては、地区委員会としての助言と協力を行いますが、その協力をさせていただく上では、各グループのガバナー補佐の皆様が中心となっての開催でございますので、委員会としてご協力しながら密に打ち合わせを行い、サポートをさせていただきたいと考えています。

また、研修三委員会の連携も取り合いながら、地区研修セミナーや、次期の各クラブリーダーとなるだろう会員の皆様にとって貴重な時間といえるRLIへの参加などを勧め、各クラブの活性化へつなげられるためにサポートしていく活動をと考えていますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

RLI推進委員会
委員長
山下　清俊（市川東RC）

RLIでは、ロータリークラブの潜在的なリーダーのためのリーダーシップ開発プログラムを実施しています。このプログラムでは、全18テーマについて、パートⅠ～Ⅲとスパイラルアップしながら進めて行く中で、参加者同士が語り合います。ここで心の交流があり、信頼感が醸成されていき、気付けば自然とさまざまな知識や情報も得られるようになります。

その結果、参加者一人一人のモチベーションが高まり、ひいてはクラブを元気にすることが期待できます。まずは参加してその「語り合う愉しさ」を知っていただきたいと考えます。

当地区でもすでに300名を超す方々が参加し、多方面でご活躍されていますが、さらに多くの方々にRLIに参加していただくことで、クラブの活性化につなげていただきたいと考えます。特にまだ参加者がいないクラブ、もしくは少ないクラブの皆様、今年度はRLI通信という情報発信をしてまいりますので、ご高覧いただき、ぜひともRLIへの参加をご検討ください。

理念研究委員会
委員長
海寶　勘一（千葉西RC）

関口徳雄地区研修リーダーが統括する研修三委員会が、一致協力体制をもって活動します。理念研究委員会の活動概念は、理念修学と奉仕活動の実践とのバランスを基本と考えて、ロータリアンの意識向上と、クラブを元気にする活性のサポートと心得ます。常にロータリー精神の涵養の大切さを共有する心掛けとして、クラブ内でもごく自然に自己研鑽に反映できるよう、さまざまな機会や場面を利用して情報案内を考えます。

先人が修得した、「ロータリーは人生道場、例会は修行の場、ロータリーは人づくり」と熱く語ってくれた感動を拝聴する機会を企画運営します。先人の秀でた知識や情報に触れることから、感動し感服し、お人柄に惚れ込み、琴線に触れる感動を享受していただきます。

加えて、さまざまな機会を捉えてクラブが元気になる「クラブビジョン」を策定し、「クラブの戦略計画」に結び付くアドバイスを心掛けます。会員一人一人が「ロータリアンたれ」と鼓舞する環境をつくり、さまざまな奉仕プロジェクトに積極的に参加する意欲に結び付く、ロータリー理念を親しみ育成したいと思います。

委員長就任にあたって

会員増強・維持拡大委員会
委員長
諸岡　正徳（成田RC）

この度2019－20年度会員増強・維持拡大委員長を拝命しました、成田ロータリークラブ所属の諸岡正徳と申します。1年間どうぞよろしくお願い致します。

さて、先般諸岡靖彦ガバナーから、2019－20年度に向けた地区運営方針が示されました。地区ロータリーを元気にするための目標として、「地区3,000会員、300女性会員、30会員未満のクラブの基盤強化、3クラブ新設を目指す」と掲げました。各クラブにおかれましても、具体的な行動計画の立案をお願いします。

新しい組織づくりに挑戦しなければ、新しい分野の会員増強は達成できません。誰もが入会したいと思う魅力あるクラブ組織を目指してまいりましょう！

フェローシップ・親睦活動委員会、広報・公共イメージ向上委員会はもとより、青少年所管の委員会とも連係し、各クラブの会員増強を支援してまいります。

フェローシップ・親睦活動委員会
委員長
森島　弘道（新千葉RC）

この度、フェローシップ・親睦活動委員会委員長を拝命致しました、新千葉ロータリークラブの森島弘道と申します。当委員会は、堀内正一管理統括委員長の下、角田幸弘委員（成田RC)、野城隆憲委員(千葉西RC)、萩原博委員（千葉RC）のお力を借りて運営してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

諸岡靖彦ガバナーの方針は、ロータリーの原点である親睦の在り方を明確に示して、親睦の奉仕活動に加わる意義を改めて考え、そして地区内の各フェローシップ活動を推奨し、交流の促進、会員の維持につなげることと伺っております。

今後、諸岡ガバナー年度において、適切な手続きを踏み、フェローシップ・親睦活動委員会の支援の在り方を確認し、地区内のすばらしい親睦活動を支援し、その実践を多くの皆様にご報告できるよう役割を果たしていきたいと考えているところでございます。１年間ご指導・ご支援のほど、よろしくお願い致します。

広報・公共イメージ向上委員会
委員長
大塚　義仁（浦安RC）

2019－20年度の広報・公共イメージ向上委員会委員長を拝命致しました、浦安RCの大塚と申します。１年間よろしくお願い致します。

本年度の地区スローガンは「ロータリーから千葉を元気に」です。当委員会では地区スローガンを受け、より一層活性化した各クラブの元気な活動を、他クラブはもちろん、ロータリアン以外の方など多くの人に効率的に発信するお手伝いと、イベント等の企画や情報提供に注力していきたいと考えております。

上半期は情報発信の準備として、各クラブのホームページ開設や更新の支援、SNSの活用提案を行います。

下半期は日本中がオリパラ気運の高まるタイミングです。キャンプ地や競技、国など現時点で確定していないことも多くありますが、各クラブと情報共有し、来るオリンピックを第2790地区として楽しみたいと思いますので、会員皆様全員のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

セミナーのご案内

＊会員増強・維持拡大委員会　**「会員増強・維持拡大セミナー」**

開催日：2019年８月31日（土）　14：00点鐘

場　所：TKPガーデンシティ千葉（千葉市中央区問屋町１－45カンデオホテルズ千葉内）

＊米山記念奨学委員会　**「クラブ米山委員長セミナー」**

開催日：2019年８月31日（土）　13：30点鐘

場　所：三井ガーデンホテル千葉　（千葉市中央区中央１丁目11－１）

＊ロータリー財団統括委員会　**「ロータリー財団セミナー」**

開催日：2019年９月１日（日）　13：00点鐘

場　所：TKPガーデンシティ千葉　（千葉市中央区問屋町１－45カンデオホテルズ千葉内）

＊奉仕プロジェクト統括委員会　**「奉仕プロジェクト推進セミナー」**

開催日：2019年９月28日（土）　13：00点鐘

場　所：TKPガーデンシティ千葉　（千葉市中央区問屋町１－45カンデオホテルズ千葉内）

コーディネーターニュース

2019年7月から、第2地域ロータリーコーディネーターを担当することになりましたRID2750、2015－16年度ガバナーの水野功です。どうぞよろしくお願い致します。最初に第2地域のコーディネーター補佐3名の方をご紹介致します。

剱田廣喜氏（RID2630　2016-17年度ガバナー、ニックネームKEN）
神野重行氏（RID2760　2017-18年度ガバナー、ニックネームSHIGE）
松坂順一氏（RID2580　2018-19年度ガバナー、ニックネームJUN）の3名の方々です。

各地区のさまざまなセミナーやグループでのIMなど、会員増強・維持、クラブ基盤の強化など、幅広いテーマの講師として、できる限りのサポートをさせていただく所存ですので、お気軽にお声掛けをお願い致します。また、各地区での新クラブや衛星クラブの拡大、ローターアクトの活躍などの情報を共有させていただきたく存じます。日本事務局とも十分に連携して、これらの情報発信を強化したいと思います。

いささか旧聞になりますが、3月の地域リーダー研修では、マローニー会長から「共につながり、共に成長しよう」との力強いメッセージが出され、同時に地区会員増強委員長宛てにと、「GROW」と書かれたブルーのバッジを手渡され、各地区のガバナーと地区会員増強委員長にお届けしました。セミナーではぜひ、ご着用いただきたくお願い致します。

さて、8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。時代に合ったクラブの拡大は、各地区の会員増強にとって大変実効性の高いものと考えます。2016年の規定審議会において、クラブの自由裁量権の拡大や柔軟性が認められましたが、多くの既存のクラブにとって、永年の慣行を変えるには多大な労力が必要であり、コンセンサスを得るのが難しいことが多いように感じています。例会時間や昼食の選択性など、若い世代が入会しやすいクラブが必要と感じています。

クラブ拡大は、各地区の戦略計画に沿って、ガバナー、エレクト、ノミニーが連携して、計画を立てる必要があります。単年度では難しいと考えます。マローニー会長は､既存のクラブが存在する地域にあっても､時代に合った新クラブの創設が必要であると強調されています。ぜひ、クラブ拡大や衛星クラブの創設を考慮いただきたいと思います。

また､「ロータリーの友」2017年11月号に100周年実行委員会が実施したアンケート結果が掲載されましたが、その中で最も印象的であったのは、各クラブとも会員増強・維持あるいはクラブ運営の問題意識は高いが、どのクラブもリーダーシップが課題であると指摘されていたことです。2017年8月号に、会員増強の成功例として大宮西RCの取り組みが掲載されていますが、強力なリーダーシップが会員増強には何より不可欠である具体例が示されています。各地区・クラブにおかれては、会長、会員増強委員長が強いリーダーシップを発揮され、実り多き年度となりますことを期待しております。

第2地域ロータリーコーディネーター　　水野　功

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付

メジャードナー

鳥飼 三津男
（習志野RC）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

杉山　芳夫
（習志野RC）
7回目

大里　忠弘
（銚子RC）
3回目

米山功労者

玉屋　亮平
（松戸RC）
26回目

鳥飼 三津男
（習志野RC）
16回目

齋藤　博昭
（浦安RC）
14回目

関口　徳雄
（浦安RC）
10回目

宮野　宗雄
（八千代RC）
7回目

小寺　眞澄
（成田RC）
6回目

佐野　忠信
（八千代RC）
6回目

杉山　芳夫
（習志野RC）
5回目

友野　俊政
（柏南RC）
3回目

渡邉　敏美
（八千代RC）
3回目

北見　洋司
（君津RC）
2回目

杉山　智基
（八千代RC）
2回目

田上　義明
（浦安RC）
1回目

新ロータリアン（敬称略）

中村　武弥
（佐倉RC）
弁護士
4月30日入会

江藤　康子
（富津シティRC）
産業機械製造
5月1日入会

門倉　浩光
（佐倉RC）
不動産業
6月6日入会

海保　太亮
（佐倉RC）
葬祭業
6月9日入会

家田　真人
（流山中央RC）
金融業　地方行
6月11日入会

鵜澤　秀行
（佐倉RC）
和菓子製造業
6月15日入会

坂部　充洋
（富津中央RC）
屋根工事
6月20日入会

中山　繁
（千葉南RC）
自動車小売業
6月21日入会

塚原　良典
（柏南RC）
料理店（和食）
6月25日入会

村上　清
（佐倉RC）
金属加工業
6月27日入会

石井　秀明
（佐倉RC）
農家
6月27日入会

村田　耕一
（千葉幕張RC）
複合機販売
7月2日入会

宮家　広充
（千葉幕張RC）
WEB制作
7月2日入会

西谷　裕子
（千葉幕張RC）
ハウスクリーニング
7月2日入会

菅原　裕輔
（東金RC）
美術工芸
7月2日入会

蓮見　英雄
（流山中央RC）
不動産管理
7月2日入会

大田　英紀
（柏RC）
エレベータ販売　管理
7月3日入会

金子　研一
（船橋東RC）
不動産管理
7月4日入会

鎌田　良子
（富津中央RC）
保険
7月4日入会

玉井 百合子
（富津中央RC）
自動車修理
7月4日入会

溝口　次郎
（勝浦RC）
自動車リース
7月5日入会

関　裕仁
（勝浦RC）
郵便事業
7月5日入会

土屋　暁
（勝浦RC）
葬祭業
7月5日入会

内田　祐一
（勝浦RC）
料理店（和食）
7月5日入会

吉野　貴代
（勝浦RC）
エステティックサロン
7月5日入会

国際ロータリー第2790地区（千葉）出席・会員数報告（2019年6月）

グループ	クラブ名	出席率(%)	例会数	会員数 2018 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	84.97	4	35	0	42	3	7
	市川東	100.00	3	42	2	42	2	0
	市川南	83.00	4	21	2	23	2	2
	浦安	90.80	4	44	1	42	1	△ 2
	市川シビック	76.09	4	32	0	33	0	1
	浦安ベイ	75.55	3	15	0	15	0	0
	平均	85.07	3.67	31.50	0.83	32.83	1.33	8
第2グループ	船橋	88.08	4	30	0	30	0	0
	船橋西	85.75	4	41	7	39	7	△ 2
	鎌ヶ谷	81.25	4	32	2	30	2	△ 2
	船橋東	80.92	4	29	3	29	2	0
	船橋南	91.67	4	14	1	11	1	△ 3
	船橋みなと	86.20	4	18	4	18	4	0
	平均	85.65	4.00	27.33	2.83	26.17	2.67	△ 7
第3グループ	千葉	84.44	3	85	4	96	3	11
	新千葉	74.19	3	49	0	55	0	6
	千葉西	90.35	4	51	4	50	4	△ 1
	千葉中央	95.24	3	31	0	27	0	△ 4
	千葉幕張	72.97	3	36	3	34	3	△ 2
	千葉東	76.01	4	28	2	29	2	1
	千葉若潮	81.04	2	32	1	30	1	△ 2
	平均	82.03	3.14	44.57	2.00	45.86	1.86	9
第4グループ	千葉南	79.48	4	45	6	47	7	2
	市原	66.95	2	48	3	52	4	4
	千葉港	80.00	2	24	3	25	4	1
	市原中央	77.55	4	50	1	47	1	△ 3
	千葉北	77.78	4	27	3	29	4	2
	千葉緑	100.00	2	23	1	21	1	△ 2
	平均	80.29	3.00	36.17	2.83	36.83	3.50	4
第5グループ	木更津	65.55	2	28	4	31	5	3
	上総	60.00	4	15	0	14	0	△ 1
	富津中央	69.23	4	33	1	35	2	2
	木更津東	78.29	3	47	3	44	5	△ 3
	君津	71.75	3	58	4	57	5	△ 1
	袖ヶ浦	92.84	4	24	4	24	4	0
	富津シティ	85.00	4	15	1	14	1	△ 1
	平均	74.67	3.43	31.43	2.43	31.29	3.14	△ 1
第6グループ	館山	82.01	4	46	3	46	4	0
	鴨川	85.16	4	34	5	34	5	0
	勝浦	91.27	3	39	4	41	5	2
	千倉	60.00	3	5	2	4	2	△ 1
	鋸南	88.88	3	14	1	15	2	1
	館山ベイ	71.88	4	22	0	24	0	2
	平均	79.87	3.50	26.67	2.50	27.33	3.00	4
第7グループ	茂原	78.91	4	62	5	58	4	△ 4
	東金	85.71	4	15	1	19	1	4
	大原	85.80	4	10	1	10	1	0
	大多喜	83.33	3	7	1	5	1	△ 2
	成田空港南	75.53	3	32	0	31	0	△ 1
	茂原東	77.04	4	22	1	21	1	△ 1
	茂原中央	67.39	4	22	2	20	2	△ 2
	大網	80.00	4	31	1	29	1	△ 2
	東金ビュー	67.50	2	20	1	16	1	△ 4
	平均	77.91	3.56	24.56	1.44	23.22	1.33	△ 12

グループ	クラブ名	出席率(%)	例会数	会員数 2018 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	86.08	4	40	3	39	3	△ 1
	旭	73.20	4	45	4	43	4	△ 2
	八日市場	65.80	3	37	2	38	3	1
	銚子東	81.21	4	29	2	33	2	4
	平均	76.57	3.75	37.75	2.75	38.25	3.00	2
第9グループ	佐原	80.82	3	50	0	48	0	△ 2
	多古	84.29	4	17	0	16	0	△ 1
	小見川	83.90	4	24	0	27	0	3
	佐原香取	89.47	3	24	1	24	1	0
	平均	84.62	3.50	28.75	0.25	28.75	0.25	0
第10グループ	成田	69.40	4	72	5	65	4	△ 7
	八街	82.93	4	29	3	30	3	1
	印西	79.65	4	20	1	16	1	△ 4
	白井	63.46	4	14	1	12	1	△ 2
	富里	63.54	3	29	0	30	0	1
	成田コスモポリタン	68.69	4	68	0	67	0	△ 1
	平均	71.28	3.83	38.67	1.67	36.67	1.50	△ 12
第11グループ	柏	68.18	4	65	10	65	10	0
	我孫子	73.11	4	27	2	31	3	4
	柏西	84.79	3	67	3	64	3	△ 3
	柏東	84.62	4	41	9	41	8	0
	柏南	78.63	3	41	6	41	9	0
	平均	77.87	3.60	48.20	6.00	48.40	6.60	1
第12グループ	習志野	79.30	4	23	2	24	1	1
	八千代	92.36	4	51	0	52	0	1
	佐倉	68.13	4	31	3	37	3	6
	八千代中央	80.50	3	22	1	23	1	1
	四街道	79.31	4	26	3	29	4	3
	習志野中央	65.41	3	49	4	47	4	△ 2
	佐倉中央	62.31	3	22	6	23	5	1
	平均	75.33	3.57	32.00	2.71	33.57	2.57	11
第13グループ	松戸	96.42	4	58	0	60	0	2
	松戸東	92.90	4	47	0	49	0	2
	松戸北	85.71	4	40	0	33	0	△ 7
	松戸中央	72.95	4	42	7	42	7	0
	松戸西	90.52	4	29	0	29	0	0
	平均	87.70	4.00	43.20	1.40	42.60	1.40	△ 3
第14グループ	野田	89.15	4	52	7	54	6	2
	流山	75.55	3	14	3	14	3	0
	野田東	77.63	4	21	0	18	0	△ 3
	流山中央	83.77	4	23	2	21	2	△ 2
	野田セントラル	82.50	4	25	1	25	1	0
	平均	81.72	3.80	27.00	2.60	26.40	2.40	△ 3

クラブ数 83RC

2018年7月1日	地区会員数	2,797人
2019年6月末日	地区会員数	2,798人
2018年7月1日	地区女性会員数	189人
2019年6月末日	地区女性会員数	202人
	当月平均出席率	79.84%
	増減	+1
	女性会員増減	+13

7月号「出席・会員数報告（2019年5月）」訂正のお知らせ

本誌7月号P13出席・会員数報告（2019年5月）表中、第6グループ館山の出席率(%)は87.78となります。これに伴いまして、第6グループ平均出席率(%)は80.60、当月平均出席率は78.47になります。お詫びと共に訂正いたします。

「ロータリーレート」のご案内

2019年7月1日より、ロータリーの為替レートは各月初日の市場実勢相場に基づくこととなりました。

ロータリーレートのご確認につきましては、右記QRコードから「地区HP」をご確認いただきますようお願い申し上げます。

⬇地区HP

国際大会で一生の思い出を

2018－19年度国際大会推進委員長の萩原勇作です。皆様に2018－19年度のドイツ・ハンブルク国際大会、そしてRID2580との共同開催となったジャパンナイトについてご報告させていただきます。

ロータリー国際大会は１つの街で世界レベルの体験ができる、他には類を見ない年度のフィナーレを飾る一大行事です。今年も世界170カ国から24,000名のロータリアンが集結し、一生の思い出をつくりながら友情を温めました。そして日本からは約2,500名のロータリアンが日本全国から参加し、活動成果を祝い皆で特別なひと時を過ごしました。

まず国際大会は華やかな開会式で幕を開けます。広大なコンベンションホールでの開会式では各国の国旗が登場し、ライブやブレイクダンスなど、さまざまなパフォーマンスが行われます。毎年変わる開会式の演出は国際大会に何度参加しても色あせることない魅力の一つです。

そして2018－19年度RI会長バリー・ラシン氏、2019－20年度マローニー会長をはじめとする基調講演などは、ロータリーの方向性・目標を同じ空間で共有できる貴重な場です。開会式や本会議、一部の分科会ではFMラジオを使用した同時翻訳で、すべてのスピーチを日本語で聞いて理解することができます。

開会式翌日からは、さまざまな講演が用意されている本会議、多岐にわたる分科会が用意されており、ロータリーの核心・成果に触れることができます。

国際大会の魅力は何と言っても「規模」と「親睦」そして「国際性」です。数万名のロータリアンが集まるイベントは国際大会だけで、世界中とのつながりを実感することができますし、エンド・オブ・ポリオをはじめとしたロータリーの活動成果を感じることもできます。

また「友愛の家」という交流のできるイベントスペースには、さまざまなブースが用意されており気軽にロータリーに触れることができます。ハンブルクではビールを楽しんだり、お買い物を楽しんだり、趣味のブースに寄ってみたりと楽しい時間を過ごすことができました。

そして今年度の国際大会のプロモーションブースもありました。日本にとって馴染みが深く憧れのハワイ・ホノルルでの国際大会は、2020年６月６日から10日まで開催されます。きっと今まで以上に盛り上がる国際大会になることでしょう。

国際大会のハイライトはもう１つあります。毎年、開会式の夜にガバナー主催による千葉ナイトが開催されていますが、今回は地区として初めて他地区（RID2580）との共催パーティ「JAPANナイトパーティ」を開催しました。

「ハンブルクで一生の思い出を」をテーマに盛大に開催されたジャパンナイトには千葉から70名、合計で215名のロータリアンが参加し、在ハンブルク日本国総領事、ハンブルク独日協会会長、世界で３名しかいないハンブルク桜の女王と、ハンブルクを代表する３名の女性もご来賓として華を添えてくださいました。また総領事はロータリーの元財団奨学生であったということでロータリーのご縁を深く感じました。

パーティでは両地区の懇親と友好を深めるために１テーブルに両地区のメンバーが着席し、皆が楽しい時間を過ごしました。

会場となったフェアモントホテル・ハンブルクは2018年度北ヨーロッパで１位に輝いた名門ホテルです。素敵な空間とドイツの旬を感じる最高の料理、そしてロータリーの友情は皆様の一生の思い出になったに違いありません。

今回の開催地であるハンブルクには日本から直行便がありません。国際大会がきっかけで開催都市ハンブルクの魅力を知ることができましたが、もう１つの魅力は、大会の前後で近隣のデスティネーション（旅行地）に足を運ぶことでもあります。私たちは大会前に、デンマークから電車ごとフェリーに乗って海を渡る「渡り鳥ライン」でドイツに入り、北欧とドイツを楽しみました。

次回の国際大会であるハワイ・ホノルル国際大会ではどのような出会いや感動、そして思い出が生まれるでしょうか。

今年度のテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」を感じるためにもRID2790の皆様の登録・参加を心からお待ちしています。

ローターアクトクラブ結成報告

佐倉中央ローターアクトクラブ

当クラブ所属の2018－19年度国際ロータリー第2790地区橋岡久太郎ガバナーは、同年度RIのバリー・ラシン会長より、地区内に２つ以上のローターアクトクラブ新設をすることを要請されました。

これを受けて、去る2019年５月25日、当クラブを提唱クラブとする佐倉中央ローターアクトクラブの創立総会が開かれ、地区内にまた若い力を生かした奉仕活動団体が誕生するに至りました。佐倉中央ローターアクトクラブは、6月26日にチャーターナイト（認証状伝達式）を開き、多数のロータリアンにメンバーのお披露目と決意表明を致しました。チャーターナイトの模様は地域ケーブルテレビ局のニュース番組でも取り上げられ、この点からも佐倉中央ローターアクトクラブは華々しい門出を迎えたといえます。

2018－19年度は、地区内で９年ぶりに３つのローターアクトクラブが誕生しました（佐倉中央ローターアクトクラブ、千葉マリンローターアクトクラブ及び鴨川ローターアクトクラブ）。それぞれの新クラブがアイデアを出し合い、連携して地域に根差す奉仕活動を行ってくれることを願ってやみません。

佐倉中央ローターアクトクラブは、大学等の教育機関を基盤とするものではなく、設立時のメンバーの大半が20代後半を占めています。ロータリークラブも会員増強が叫ばれておりますが、さまざまなボランティア活動を行う若者の団体が多数存在する現代において、地域のローターアクトクラブがクラブの維持発展を継続することは、困難が付きまとうかもしれません。しかし、地域において影響力を持つ提唱クラブの協力・助言の下で奉仕活動を行えることが、ローターアクトクラブの強みでありますから、これを生かして会員の勧誘とクラブ活動内容の訴求を行っていただければと思います。

既に、次年度夏季の活動計画が立ち上がっていると聞いています。佐倉中央ローターアクトクラブの末永い維持発展を心からお祈り申し上げます。

鴨川ローターアクトクラブ

諸岡靖彦ガバナーエレクト、漆原摂子ガバナーノミニーをはじめとする多くのご来賓、地区役員、地域の方々、第６グループの皆様に見守られる中、無事に6月26日に承認書の伝達式を終えることができました。橋岡久太郎ガバナー年度中にローターアクトクラブを立ち上げたいという強い気持ちと、もともとRYLAに参加した若い彼らの「何かしたい」という熱い気持ちから始まったこの立ち上げですが、地区の皆さんのご協力を得て、元気な５人からのスタートを切ることができました。

地域の中で何ができるのか、ロータリアンと一緒に何をすべきなのか、いろいろな意見や想いを持った5人だと確信し、私たちロータリアンは彼らの奉仕に対する気持ちを後押しするとともに、一緒に成長し地域に必要とされるローターアクターとして力を蓄えていきたいと考えます。人口の地域格差のあるこの南房総から立ち上がった若い彼らは、多くのパワーを持っていると思われます。地区の多くのローターアクターからもこれから多くの刺激を受けることでしょう。「井の中の蛙」ではなく、自らの足で自分たちにできること探しの旅に踏み出すスタートラインに立った彼らに最大のエールを送り、そして共に成長ラインに乗る鴨川ロータリークラブであることをお誓い申し上げます。これからの彼らにご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

ガバナー月信８月号　2019年８月１日発行／2019－20年度国際ロータリー第2790地区ガバナー事務所　ガバナー 諸岡　靖彦
〒260-0042 千葉市中央区椿森3-1-1-302　TEL.043-284-2790　FAX.043-256-0008　E-mail.19-20gov@rid2790.jp　URL:http://www.rid2790.jp/
PUBLISHER／ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2790 GOVERNOR YASUHIKO MOROOKA
OFFICE／3-1-1-302　TSUBAKIMORI CHUO-KU CHIBA-CITY CHIBA JAPAN　260-0042　TEL.+81-43-284-2790　FAX.+81-43-256-0008